

感染症週報〔市内週報 平成23年第44週〕

結核・感染症発生動向調査

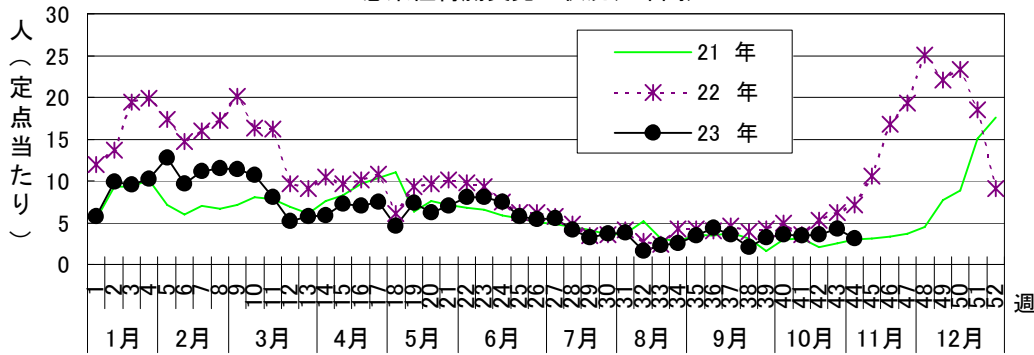
平成23年11月8日

平成23年第44週感染症発生状況【川崎市内】

平成23年10月31日～平成23年11月6日

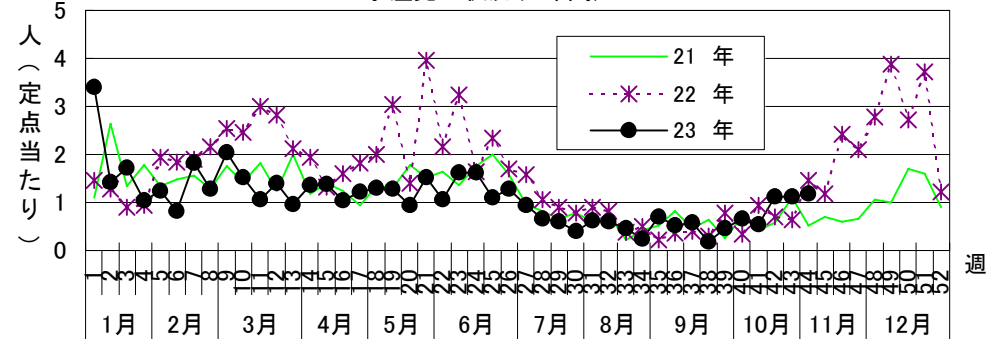
5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届出	累計(平成23年第1週以降)
<p>第44週で患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 水痘・手足口病でした。 感染性胃腸炎は定点当たり3.09人と前週(4.27)より患者報告数は減少しており、例年に比べ低いレベルで推移していますが、これからの時期に患者報告数が増加することが推測されますので注意が必要です。 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり1.45人と前週(1.21)より患者報告数はやや増加していますが、ほぼ例年並みの推移となっています。 細菌性赤痢の発生届が1件(推定感染経路: 経口感染、推定感染地域: フィリピン)ありました。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 2件	結核 351件
	3類感染症	細菌性赤痢 1件	細菌性赤痢 4件 腸管出血性大腸菌感染症 24件
	4類感染症	なし	レジオネラ症 10件 E型肝炎 1件 デング熱 5件
	5類感染症	なし	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎 3件 急性脳炎 2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 4件 後天性免疫不全症候群 13件 梅毒 10件 風しん 10件、麻しん 9件

感染性胃腸炎発生状況(3年間)

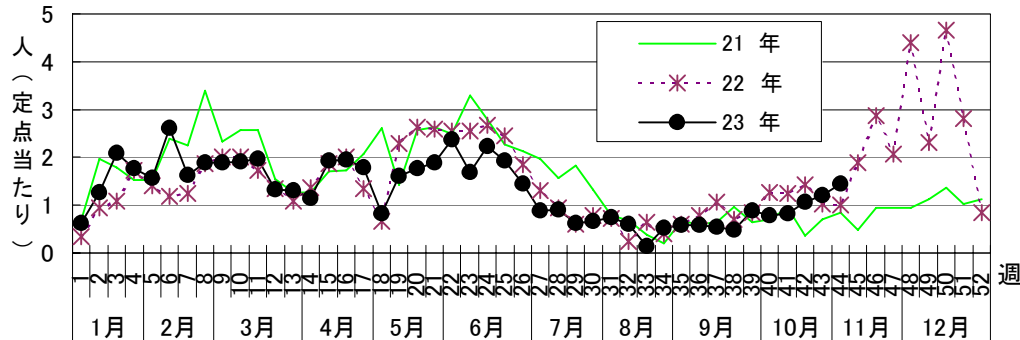


※今週はIDWRの「注目すべき感染症」の記事の掲載はありませんでした。

水痘発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



手足口病発生状況(3年間)

